

袖垣治彦 木版画展（第Ⅱ期）

〜飛騨の獅子舞、民具を彫る〜

2026 11/21 日 → 2027 1/31 日

【開館時間】 9:00〜17:00（入館は16:30まで）

【休館日】 月曜日（月曜が祝日の場合は、翌平日）

【入館料】 一般 200円（20名以上の団体料金160円）/高校生以下は無料

※各階がい者手帳ご提示の方は100円

※第3日曜日は家族ミュージアムの日により無料

【主催】 飛騨市教育委員会

【共催】 飛騨の匠学会

飛騨市美術館

袖垣治彦は昭和29年、岐阜大学美術工芸学科を卒業すると、赴任先の高山市立第一中学校で中西忠節に出会い、木版画指導に取り組むようになります。以後、氏は飛騨地方の小中学校の中心的な指導者の一人として木版画教育を推し進めていきますが、自身も独学で木版画を習得し、全国規模の公募展に継続し出品するなど、数十年にわたって木版画の制作を手がけました。

今回の木版画展第Ⅱ期では、飛騨の歴史や風土に根ざす氏の多彩なモチーフの中から、飛騨北部の獅子舞と民具の二つをテーマに取り上げます。飛騨北部に伝わる金蔵獅子は、袖垣氏が特に好んで木版画の主題に取り上げたものです。氏は師範学校時代から山之村森茂や国府の金蔵獅子、また白川村各地の獅子舞を見てまわり、版画に彫り上げています。もう一つのテーマは民具です。氏は蔵柱の大きな実家にあった「田んぼや山仕事」などの民具を思い起こし、「…ああ、こりゃいっぺん、のこいどかにゃいかな…」と述懐しています。

【トークイベント】森茂金蔵獅子と袖垣治彦

袖垣氏が師範学校時代から彫り続けてきた山之村森茂の金蔵獅子について、地域の方より映像を見ながらお話を伺います。

【講師】清水和彦氏（神岡町森茂獅子保存会長）

【期 日】11月29日（日）午後2時～ 予約不要

【場 所】多目的室

【トークイベント】袖垣治彦氏 自作を語る

袖垣氏より、飛騨地方各地の獅子舞を見てまわった思い出、民具への想いなど、展示室を巡りながらお話しいたします。

【期 日】1月24日（日）午後2時～

【場 所】第一展示室

※第3日曜日のため入館料無料・予約不要

【ミニ木版画教室】多版多色木版画、はじめの一步

二枚の版木による多色刷り木版画を制作します。色の重なりや、組み合わせの美しさを楽しみましょう。

【講師】大下正喜氏、長瀬由美子氏（日本版画院）

【期 日】11月29日（日）・12月6日（日）午前9時半～

【場 所】古川郷土民芸会館

【参加料】1,000円 ※要申込

「…僕は山之村の獅子が非常によかったんやな…、どうやら、あれは高等科卒業して、師範学校行つた初めの頃かな、わざわざ見にいっただき、峠を越えて森茂まで…」

袖垣治彦 木版画展（第Ⅱ期）

飛騨の獅子舞、民具を彫る



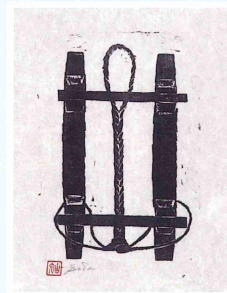
作品名・制作年不明



「金蔵獅子」(制作年不明)



「くねり」



「そり」



「ねこだ」

飛騨市美術館

〒509-4221 岐阜県飛騨市古川町若宮2-1-58

TEL 0577-73-3288 FAX 0577-73-5003

〈アクセス〉

JRにて、高山本線「飛騨古川駅」下車、跨線橋を渡り徒歩5分。

・富山よりJR高山本線・特急で約1時間15分。

・名古屋よりJR高山本線・特急で約3時間。

・お車にてお越しの場合は、市営飛騨古川駅東駐車場をご利用ください。

・東海北陸自動車道、清見ICより卯の花街道を通り約30分。

